

コロナで失われた懐しいイベント

毎年「また今年もこの季節が…」と開催されるのが当然と思っていたイベントの多くが、コロナの影響で昨年春から突然中止になり、今後の見通しも立たないままになっています。このあと、また今までのようにベイタウンのイベントは復活し、楽しい生活は戻るのでしょうか。再開することを願って、今月号ではコロナ禍で失われたベイタウンの生活に彩りとリズムを加えて来たイベントの数々を写真で振り返ります（写真は過去のもので、イベントはここに紹介した以外にもたくさん行われています）。

【松村】



ベイタウンまつり (写真上、2015年)

街が一番にぎわいに包まれるベイタウンまつりは2020年の第21回と2021年の第22回が中止になっています。プロムナードを一杯に埋める人の波をまた見たいものです。

もちつき大会 (写真右、2018年)

育成委員会主催のもちつき大会は2020年は行われましたが、2021年（今年）は開けませんでした。



(写真上、2017年) 毎年7月にコア中庭で行われている「流しそうめん」。子育て中のお母さんの発案で手作りが始まった企画だが2020年と2021年の2回が中止された。

(写真下、2019年) 恒例のコア・フェスタ。2020年には「コア・フェスタ ミニ」として縮小してコンサートのみが開催された。



(写真上、2016年) 中学校体育祭。2020年は10月に、2021年は5月に各学年個別に縮小して開催された。小学校運動会もほぼ同じスタイルで縮小形式で開催。

(写真下、2018年) コア・フェスタで行われている「こどもサイクリリサイクル」。2020年、2021年ともに開催を中止してい



(写真上、2017年) 毎年千葉県文化会館大ホールで行われていた打瀬中学校「音魂祭」。2020年の演奏会が中止になり2021年も開催の目処は立っていない。

(写真下、2018年) 毎年12月開催のマラソン大会。2020年大会が中止になり、2021年大会も



主婦がつくった「防災マニュアル」(2)

前月号では12番街自治会に集まった主婦のみなさんが番街の防災マニュアルづくりをすることになったところまでお伝えしました。今回は実際のマニュアルづくりのお話です。【松村】

防災マニュアルを作ろうということは決まりましたが、具体的にはどんなものを作ればいいのでしょうか。10人の主婦は自分達の目線で防災には何が重要なかを改めて考えてみました。

普通防災マニュアルというところのことが書かれていて情報が多く、いざという時に知りたいことをすぐ見つけられません。そこで、コンパクトにまとめられ、必要な情報がすぐに見つけられる「防災ガイド」を詳細なマニュアルとは別に作ることにしました。デザインを考えるのは羽田野さん。現役のプロのデザイナーです。こんなうってつけのスキルをもった人がメンバーにいたのは幸運でした。

羽田野さんは10月初旬にはガイドとマニュアルの具体的な案を出してくれました。防災ガイドはコンパクトなB5版で保存がきくラミネート加工にしようと、全員一致で決まりました。みんなの目が輝き、一気にテンションがあがります。あとはこの案の中身の原稿を考えること。具体的にやることが決まったので、全員で分担して

中身を考え、それを毎日のようにLINEで見せ合い、情報交換して精度を上げていきます。この頃は毎日が防災のことで頭がいっぱいの時期です。それを物語るこんなエピソードがあります。

ある日、記者会見する小池東京都知事をTVで見ていた織田さんは、都知事の背景にあるボードに「東京都防災模試」と書かれているのを見つけました。「防災ガイドのことで頭が煮詰まっていた」ので気分転換にと思ってこの防災模試を受けてみました。結果はなんと100点満点中84点の「(みんなを導く)防災ゴッド」です。これを聞いた山岸さんも早速挑戦。織田さんよりも少し低いものの高得点を出したそうです。

何度も試行錯誤を重ね、約1ヶ月後には羽田野さんが再レイアウトし、カラーのpdfで出して全員が見られるようにしました。これを見てメンバーはニンマリ。また少しテンションがあがりました。

しかしこれだけでは終わりません。校正を進めるうちに、こんなことも書いた方がいい、ここはこうしたらと多くの修正が出

て再出力、また校正という作業が延々とつづきます。いつしか羽田野さんは、織田編集長、小松副編集長、山岸ディレクター、と呼ぶようになり、他のメンバーも含め、LINE上では凄まじいやりとりがくり広げられました。

いろんな問題も出てきました。例えば、マニュアルには「トリアージ」という沢山の怪我人の治療の順序を決める専門用語がでてきますが、これだけでは普通の人には意味が分からないという意見が出ました。これには自治会長だった川上さんが医療関係者だったため、詳しく分かりやすい解説を加えて修正。

「災害時に必要な書類を英文化できないか?」と言われ「時間がないから無理」と思いつつ、でも「やるしかないでしょう!」とすぐに山岸さんが知人の翻訳家に依頼し、あっという間に完成。印刷間際になってもこんな校正がつづきました

そしてようやく、「防災ガイド」「大規模震災対応防災マニュアル」、災害時に安否確認できない部屋のドアに貼る「安否不明ステッカー」などのツールセットを含むすべてが出来上がったのは4月に入って、自分達の自治会役員の任期が終わる間際でした。完成していなければ「自治会留年」という言葉さえメンバーの間ではささやかれたそうです。

苦勞し、産み育てた「我が子のようにかわいい」防災マニュアルは、今12番街の防災活動の大きな支えになっています。



12番街防災セット。左上が「防災ガイド」(B5版8ページ、ラミネート加工)、右上が「防災マニュアル」(A4版24ページ)、左下が「連絡依頼書/安否不明ステッカー」、右下が「防災連絡カード」。セットは12番街の全戸に印刷配布されている。

はアトリウム始めガラスが多く使われていてとても明るいのですが、潮風は容赦なく吹きつけます。「皆さんに、気持ち良く使っていただくための施設維持管理、ということですね」。コアも設立20周年近くとなり、老朽化対策は喫緊の課題でしょう。

1時間弱のインタビューでしたが、温かい目で私たちを見守ってくれているのが感じられました。「皆さんとの出会いを大切にしていきたいと思っています」と、メッセージをいただきました。こちらこそ、よろしく願います。

ちなみに11月には小・中学生対象で書き初め講座を開講する予定です。こぞって参加してみてください。

「出会いを大切に」 打瀬公民館長インタビュー

5月開催のコア・ホールでの講演会で、標題を記した垂れ幕は毛筆で書かれた存在感のあるものでした。アトリウムにある掲示物も墨痕鮮やかで、機械で印刷した活字にはない暖かさを感じます。これらの「作品」で4月から私たちの活動を支えてくれているのは新しい公民館長さん。どんな方なのでしょう。【小原】

2002年に開館した打瀬公民館(ベイトウン・コア)。12代目となる石田邦治(いしだくにじ)新館長は市原市出身、市川市在住。この3月まで3年間生浜中学の校長、その前は2年間真砂西小学校の校長として活躍されていました。教え子という人はベイトウンにもいそうです。

20年以上野球部の顧問だったと聞いたので、スポーツマンかと尋ねたら「どちらかというスポーツ観戦の方が好きで、テニス、サッカー、野球、ゴルフなどかなりいろんな情報を知っています」とのことでした。受付で石田さんに声をかけると、スポーツ談義に花が咲きそうです。

冒頭で紹介した手書きの掲示物について聞きました。「中学校教員時代の教科は国語で、書教育やその推進研究にも従事していました。手書き文字の良さを感じてもらえたらうれしいという思いから、掲示物を毛筆で書いています」。サークル活動のバックアップとして、書の特長を遺憾なく発揮してもらえそうです。イベントの時には相談してみましよう。

「定年後の仕事として、公民館を第一希望で選びました。生涯教育の場で先輩方がどう日々を過ごされているか知りたい、という気持ちからです。サークルやボランティアなど、生き生き活動をしている良き

先輩からとても刺激を受けています。

石田さんはさらに、「音楽の発表会でも、サークル活動への熱意が伝わってきました。ベイトウンという地域の特色も感じます。皆で集まって何かをする、という気運が広がっているのを感じています。住民で作り上げたというこの建物にも思いがこもっています」とも。この地域や住民をじっくり知ることが、館長さんの最初の大事な仕事なのだと伝わってきました。

石田さんにこれからしようと思っていることを尋ねました。「窓そうじ」と即答。事務室が笑いで包まれました。確かにコア



(写真上) 毎週火曜日朝のラジオ体操会には皆さんと一緒に体操をしています。左のイラストは公民館主事の手塚さんが描いた館長。似てる〜。

電動キックスクーターに乗ってみた（1）

コミュニティコアの前や、打瀬3丁目公園の前に止まっている赤い乗り物が気になった。それに乗って街の中を颯爽と走っている人を見かけたことからちょっと調べてみることにした。赤い乗り物は「電動キックスクーター（電動キックボード）」という名称だ。

千葉市では2019年7月から新しい移動手段の実現に向け、安全性や移動利便性などの検証を目的に走行実験が始まり、現在は美浜区及び中央区の一部をエリアとし、10か所のステーションを中心に、公道での実証実験が続けられている。乗るには、普通自動車免許や普通二輪免許が必要。ヘルメット着用は任意、支払い方法はクレジットカードとなっている。原付自転車の扱いになるので歩道は走れない。

とにかく試乗してみることにした。まずはLINEアプリから運転免許証とクレジットカードの登録を行い、コア横のステーションに向かった。スクーターの近くでLINEアプリを起動し、ハンドル中央にあるQRコードを読み取り、ロックを解除すれば運転が開始出来る。終了時は、各地のステーションにスクーターを戻しロックをかければ終了となる。

走り出すには、地面を3回程度キックして適度なスピードが出たら、ハンドル右

側のアクセルを下に押し下げて加速する。ブレーキは自転車と同じようにハンドル左右のレバーを握るシンプルな構造だ。

走り始めて思った。最高時速設定は15kmだ。これは自転車と同じか、それより遅いくらいのスピードだ。しかし、速度が遅いから安全性が高まるのではなく、むしろ事故を誘発する大きな原因にもなる。道路で生じる危険は、「速度」そのものだけでなく、他車両との「速度差」にもあるからだ。実際に試乗してみると、ペイタウン内だけを走る分には問題なかったが、街を囲む広い道路に出たところで「ママチャリ」を含む多くの車両に追い越された。自転車とは、クルマ以上に距離が近い。彼らが音もなく追い越しにくるたび、緊張が走った。



もう一つ気になるのが「ヘルメットの着用が任意」ということだ。おそらくヘルメットのシェアが難しいことや、自前ヘルメットの用意を利用者に求めれば、「気軽」に利用してもらえないことが背景にあるものと推測する。しかし、車道は「気軽」に走る場所ではないと思う。ヘルメットの任意着用は、事故を軽減しようとする動きに逆行しているように感じた。

さらに交差点での右折だが、何故か自転車や原付と同じ2段階右折が禁止されていて、右折レーンを使って曲がらないといけない。これは怖い。走るのは自転車や原付と同じ道路の左端なのに、曲がるときは電動キックスクーターだけ車と一緒に走らなければならない。15kmしか出ないのに、大きい道路で右側の右折レーンまで車線をまたいで行き、車と一緒に右折するなんて考えただけでも危険な作業だ。

各国で電動キックスクーターの事故が問題になっている中、普及が早かった韓国では、交通事故による死者数増加をうけ、免許、ヘルメット、走行ルールの厳格化が行われている。がんじがらめの規則は好きではないが、公道を走るからには、安全、安心な環境を確保したうえで楽しんでもらいたいと願う。

今回は電動キックボード自体の使用感を記事にしましたが、次号ではシェアする社会(交通)インフラとしての電動キックボードを考えて見ます。【金】

倒れて欠けた街路樹はどうなる

2年程前からの台風や強風でバレンタイン通りのトチノキが何本も倒れています。特に9番街前の歩道は7本の街路樹のうち4本が倒れるか枯れており、残っているのは3本のみという状態です。千葉市は事故や災害で倒れた木を植えかえることはしないのでしょうか。千葉市の担当課に聞いてみました。

意外な答えが返ってきました。「住民からの要望を受けて、新しく植樹するなどの補修はしています」とのことでした。僕は「予算がないのでできません」という答を期待(?)していたので、驚きました。

では「9番街前のトチノキは植樹される予定はありますか」と聞くと、「住民からの要望が出ていれば検討していると思いますが、今は検討していないようで、新たな植樹の予定はありません」。

なんのことはない。街で要望として出していないので、優先順位が低く、検討されていないということのようです。では「自治会などから要望すれば、優先順位が上がり、植え替えが行われる可能性が高いのですね」と聞くと、「そうなると思います」とのことです。

どうやら私たちは「千葉市は予算がないので、こんなことは要望しても駄目だろう。余り市に無理を言うてはいけない」と「よい子」ぶっているのではないのでしょうか。

街の意見を千葉市に伝える自治会連合会は各番街からの要望を受け、話し合うテーマを決めるのが原則だそうです。逆に言えば各番街から要望がなければ問題はないと考え何もしない、ともいえます。是非は別にして各番街から連合会に提案して、千葉市に植樹を要望するか、あるいは直接土木管理課に要望するのがいいようです。



ジュニアコーラス フェアリーズ 体験会 & ミニコンサート「おんがくのおくりもの」

お待たせしました！フェアリーズから音楽の好きな子どもたちに向けてのイベントです。フェアリーズに興味を持っている年長から高校生の皆さん、ぜひお待ちしております！！

2021 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 3位 / 千葉県合唱アンサンブルコンテスト金賞 (12年連続) 千葉県代表

「体験会」:

音感の基礎、ハンドサインを体験してみよう

ミニコンサート「おんがくのおくりもの」

講師演奏や少人数でのアンサンブルなど、小さいお子さんから楽しめるコンサー

ト、音楽の魅力をお届けします。

参加希望者は、フェアリーズ HP (<http://jc-fairies.net/>) 内のお問い合わせに、「お名前・学校名・学年・連絡先」をメールにてご連絡下さい。

コロナ感染予防を徹底して実施致します。詳しくはHPをご覧ください。なお、参加人数を調整させていただきますので、ご希望の方は早めのご連絡をお待ちしております。(保護者の付添いは1名までとさせていただきます。)





つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

●7月申し込みの主催講座～7月2日（金）9時受付開始

化学の力で絵を描いてみよう

日時：7月17日（土）10：00～11：30

場所：打瀬公民館工芸室

対象：小学1～6年生 12名

費用：200円（材料費）

講師：くらりか（蔵前理科教室ふしぎ不思議）の皆さん



勾玉（まがたま）づくり

日時：8月1日（日）10：00～12：00

場所：打瀬公民館工芸室

対象：小学4～6年生 12名

費用：250円 持ち物：ハンドタオル

講師：埋蔵文化財調査センター職員



点字を打ってみよう

日時：8月5日（木）10：00～12：00

場所：打瀬公民館講習会 対象：小学3～6年生 15名

費用：無料 講師：千葉県視覚障害者福祉協会 石川 龍海 先生

◇申込方法

打瀬公民館窓口または電話 043-296-5100

※感染状況により中止の場合があることをご承知ください。

夏休み子どもラジオ体操のお知らせ

今年も7月から恒例の「夏休み子どもラジオ体操」が始まります。時間は6：30からです。休まないで来てね。

第1期（海浜打瀬小校庭）7月18日（日）～7月24日（日）

第2期（美浜打瀬小校庭）7月25日（日）～7月31日（日）

第3期（打瀬小校庭）8月22日（日）～8月28日（土）

リーダー練習会：

7月3日（土）、7月10日（土）、7月17日（土）の3回。

毎日6：00から7：00まで海浜打瀬小ピロティーで行います。

第202回ファッティオリの会

日時：7月25日（日）午前9：30～

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂きます。ただし、今回もコロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。非公開でのご利用も受付けております。状況により中止の場合もあります。

最新の情報は、<http://baytown-core.net/top.html> をご覧下さい

申込締切：7月18日（日）

申込先：akibakrym@yahoo.co.jp（秋場）

キュービックカフェ7月・8月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！『キュービックマルシェ』

<7月> 7/10（土）時間：11:00～16:00 コミュニティスペース絆（パティオス11番街1階）にて。ハンドメイド作品の他、「CafePresent」さんの焼き菓子や「例のパンや」さんも出店します♪（8月は8/7（土）開催予定です）

◆7/31（土）夏休みワークショップマルシェ開催☆

イベント最新情報はキュービックカフェホームページをご確認ください。

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ

<https://www.cubic-cafe.com/>



きもの&マナー教室 令和3年度文化庁伝統文化親子教室事業（無料講座・全7回コース）

自分で浴衣や着物を着てみませんか！日本の伝統衣装きものを通して、美しい所作が自然に身に付きます。

マナー（礼儀作法）も学んでカッコよく変身しましょう～

募集人数：10名

日程：7月10日（土）、11日（日）、17日（土）、18日（日）24日（土）、27日（火）、31日（土）

時間：13：30～15：30

場所：打瀬公民館 和室

参加費：材料費500円

対象：小学～中学生（男・女）

講座内容：自分で浴衣、着物を着て帯結びもマスターします。

着物のたたみ方、礼儀作法、和室でのマナー、和小物作り

～ 受付中 ～



<申込み方法>

右記のQRコードから申込み下さい→

又は、bay.dentoubunka@gmail.com まで

件名「きもの&マナー教室」

①参加者名・保護者名（ふりがな）

②学校名・学年 ③電話番号④住所

※受付は先着順、定員に達し次第キャンセル待ちとなります。

<問い合わせ>

主催：幕張ベイタウン伝統文化和装礼法伝承の会 / 美しい所作の会

講師：公益社団法人全日本きものコンサルタント協会員

連絡先：電話 090-9567-8155（富田）



わくわくおはなし会

わくわくおはなし会7月のおはなし会は完全入れ替え制の2回公演

日時：7月17日 土曜日

時間：1回目：10時から 2回目：11時から

プログラムは各回同じ内容、1回45分程度の完全入れ替え制

場所：ベイタウン・コア講習室

定員：各回16名（感染防止の観点から十分な距離を取らせて頂きます。マスク着用でご参加ください）

ご好評につき2回公演としました。感染症対策として、予約・定員制となりますので、ご参加希望の方は下記メールアドレスにて、代表者のお名前・ご参加人数（お子様の場合は年齢も）・ご希望の時間を明記の上、お申込みください。年齢制限はありません。

皆さまに安心安全にご参加いただけるよう、細心の準備をして開催させていただきます。

※最新情報はブログでご確認ください

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

◆お申込み・お問合せ先◆ waku2book@gmail.com

7月のベイタウンかふえ ～ちょっと覗いてみませんか～

7月14日（水）13：30～16：00 開店

いつでも出入り自由

生のジャズピアノ演奏を聴きながら、午後のひと時をゆったりとお過ごしください。感染症予防ということで出不精になると足腰が弱って免疫力低下につながります。適度な散歩をお心掛け下さい。その目的地にこの「ベイタウンかふえ」が入っていると嬉しいです。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤（TEL：211-0588）まで。

追伸：8月のベイタウンかふえはお休みです。コミュニティスペース絆では、多様な「場」を提供していますので、当会のホームページをご覧ください。

